

綱島の再開発とまちづくり
まち構造研究会での視察より

・再開発地区のデザインと周辺まちづくりとの関係
・道路交通環境の改善への取り組み



1

自由が丘綱島



乗降人員 東横線8.5万人 大井町線5.1万人 小売・飲食・生活サービス規模 790億円 商店会 1300店	乗降人員 東横線8.1万人 新横浜線1.6万人 小売・飲食・生活サービス規模 230億円 商店会 400店
--	---

(売上規模2021年経済センサス)

2

■広域図



3

横浜市資料より




4

昭和15年 島綱南




5

東急による宅地分譲 昭和初期



1959年の旅館分布



6

綱島駅周辺地区まちづくり協議地区

横浜市資料を加工

西口

- ・1930-温泉旅館街形成
- ・戦災後に再興
- ・1970年代-マンション建設
- ・1982イトーヨーカドー
- ・1996パデュー通り環境整備
- ・2024 ヨーカドー閉店

駅周辺

- ・1926綱島温泉駅
- ・1944綱島駅に
- ・1960年代鉄道立体化 高架下に対応した再開発、モースターミナル
- ・1997駅前再開発検討、中止
- ・2016-耐震補強、再整備
- ・2020 エトモ開業
- ・2022駅前再開発都市計画決定

東口

- ・桃園、池谷家
- ・旅館街 東京園
- ・2014再開発準備組合
- ・2016区画整理、再開発、自転車駐車場都市計画決定
- ・2023新綱島駅 再開発ビル
- ・池谷家活用木造商業施設計画

7

西口

パデュー通り、広場を軸にしたまちづくり

ヨーカドー撤退

8

駅周辺

駅周辺 一方通行、午後車両進入禁止 無電柱化等整備

東口高架下と線路脇 商店街ビル建て替え、歩道確保

9

東口 新綱島駅、区画整理、再開発地区

10

新綱島駅前地区まちづくり協議地区

本プロジェクトは、歴史的風景を尊重し、新しい中核として機能するべく、駅前地区の再開発を推進することにより、駅前地区の活性化を図ることを目的とする。

本プロジェクトは、歴史的風景を尊重し、新しい中核として機能するべく、駅前地区の再開発を推進することにより、駅前地区の活性化を図ることを目的とする。

11

綱島駅東口周辺の課題

横浜市資料より (5)

東口駅前 ①

バス・タクシーの乗降場が集中し、周辺道路の混雑が激しい。

②

歩道がない(狭い)道路が多い。

③

自転車駐車場の不足。

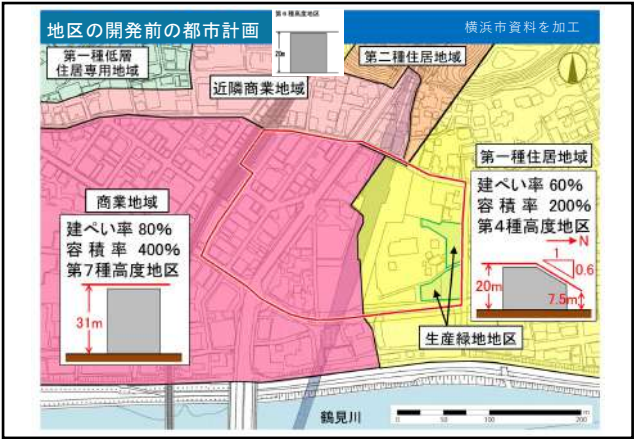
12



13



14



15



16



17



18



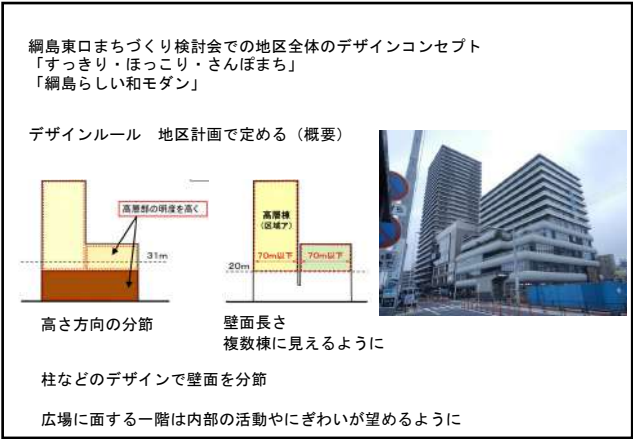
19



20



21



22



23



24